

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便り

お知らせ

<クレンリネス事業部>



5月1日から広島市立北部医療センター安佐市民病院の清掃業務が開始されました。清掃業務に初めてつかれる方、従来の安佐市民病院から移籍してこられた方、他の現場から異動された方など様々な経歴をお持ちの47名のスタッフの方々に集まって頂きました。オープンに当たってはのぞみ園・東大病院・マツダ病院・浜脇病院他の各事業所から応援に駆け

つけて頂き、皆様方のお力で業務を開始することが出来ました。改めて御礼申し上げます。慣れるまでは大変ですが、新しい病院で地域の中核病院でもあります。クレンリネス事業部全員でよい現場にしていまいりましょう。

<営業推進部>



『中央公園ファミリープール』はコロナ禍ではありますが、今年は7/1（金）～8/31（水）の期間で開園する予定で準備を進めており、3業務（プール監視、巡回警備、総合案内）のアルバイト募集を縁故紹介、求人誌等で行います。

来園者が安全、安心、快適な一時を過ごせるよう、総人数約70名のスタッフで、園内の環境を整えてお迎えます。スタッフのご紹介を頂ける場合は、営業推進部までご連絡をお願い致します。

連絡先：082-263-0013（採用担当：林）

<広島市中小企業会館>

コロナ禍において、ゴールデンウィーク期間中も大型催事が開催され多くの来場者がありました。前年同時期は新型コロナの影響を受けキャンセルが相次ぎましたが、今年度は規制緩和に伴い、大型イベントも戻りつつあります。平年並みのイベント開催を願うと共に、引き続き職員一丸となり、感染防止対策を徹底し会館運営を行ってまいります。

<広島市留学生会館>（国際交流・国際協力の拠点）

コロナに対処する水際対策が緩和され、入国してくる留学生が増えています。留学生会館にも多くの留学生から入居申請があり、入居率も90%を超える勢いです。これからは、居住学生が学業を成就するという所期の目的を達成することを応援しながら、生活支援をしっかりと実施していくと共に、5月から本格的に再開する会館のイベント等を通して、留学生間及び留学生と市民との国際交流を促進してまいります。

<セキュリティ事業部>

先日、現場を訪ねた際に鍵を確認したところ、鍵山（ギザギザ部分）が擦り減っている鍵を見かけました。このような鍵を使い続けると、鍵が上手くかからなかったり、錠の故障に繋がったりする可能性があります。現場の鍵にこのような鍵が含まれていたら、契約先に報告して交換してもらう必要がありますので、本社に報告をお願いします。

<FM事業部>

FM事業部では、4月から5月にかけて中国地方5県にある年金事務所25施設の、建築物におけるバリアフリー法に基づく点検業務を実施しています。これは、不特定多数の方が利用し、又は主として高齢者、障害者等が利用する一定規模以上の施設について、段差・手摺・通路幅・車椅子利用者への配慮等建築物移動等円滑化基準に適合しているかを点検するもの



です。初めて受注した業務であることから、様々なことを学びながら取り組んでいます。また各事業所では、暖房シーズンが終了し冷房運転開始に備えて関連機器類の点検整備を開始する時期に当たりますので、作業手順を明確にすると共に作業ごとの安全対策、特に高所及び機械室内作業においてはヘルメット着用を徹底し、安全作業に努めましょう。

<東京支店>

ネズミに生ごみは大変な御馳走で、ゴミ置き場（ゴミ庫）は恰好の餌場です。警戒心旺盛で、毒餌なんかには見向きもせず、ネズミ捕りシートにも、なかなかひっかかってくれません。大改修し、隙間を塞いでも、しばらくするとまた新たな侵入路を開拓するのです。ネズミと管理人の知恵比べです。信じられないほどのわずかな隙間からでも侵入して来ます。木製の柱などかじるのは常態です。彼らも生きるために必死です。反面教師的にネズミから学びました。必死になれば可能になることもある。毒餌・忌避剤・粘着シート・音波発信器等々ネズミ対策グッズは色々ですが、可能ならエサとなる生ゴミ等の「元を断つ！」ことです。大都会のネズミはしぶといです。いつの日か敵の完全遮断をお知らせできたら幸甚です。



<安全衛生委員会>

58期がスタートして1か月余りが経過しました。昨年度は12件の労働災害が発生し、その半数の6件が転倒転落事故でした。転倒転落事故は最悪の場合生命に係わることもあり、骨折等で休業を伴う可能性も高くなります。昨年発生した6件の転倒転落事故のうち2件が休業を伴う事故となりました。転倒転落事故を撲滅するため、「階段を下りる時は手すりを持つこと」や「転倒しないための体作り」など、基本を守って頂くようお願いいたします。事故のない職場環境を作っていきますので、ご協力よろしく申し上げます。ご安全に！！

<磨種（ときぐさ）>

5月1日現在、社員総数が671名となり、4月1日に比して64名増えました。その要因は、広島市立北部医療センター安佐市民病院の開業に伴うアイコス業務受注（院内清掃・電話交換・施設警備業務）によるものです。

平成30年3月末、文部科学省の行財政改革の名の下で品質価格競争に敗れ、社員数十名が現場を去らざるを得なくなった時、東京大学医学部付属病院ICT代表・感染センター長から感染対策ICT Awardを頂いて発奮し、3年ぶりの令和3年4月品質価格競争に勝利復帰できました。

また、その経験をバネにして、広島市立北部医療センター安佐市民病院のアイコス業務の受注に挑んだところ令和3年12月、弊社をご選定頂くことができました。5月からの開業に際して、東京支店からは進藤恭平東大病院事業所長が、これまでの恩義に報いる為と忙中を駆けつけてくれました。感謝です。

「勝ちに不思議の勝ちあり・負けに不思議の負けなし」の言葉があります。広島カープと一緒に、いくら勝ったからと言って負ける要素も多々あった筈。その負ける要素が何であるのかを抽出し、どうしたらその負ける要素を消せるのか。これからも5SとABCの徹底実践を通して考え出さねばなりません。

Do not relax your guard after you've won the battle.